

令和5年度 勝央町元気なまち総合戦略 事業実施評価調書

No	① 総合戦略事業の名称  ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）						④ 事業における重要業績評価指標（KPI）					⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 (10/1 有識者会議実施)		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標	指標値	単位	目標年月	実績値					令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由				
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度						令和5年度			
1	多様な人材の連携の場づくり (①勝央町の地域創生を担う「ひと」と「地域」を育てる)	総務部	-	-	-	1,000	959	997	指標①	連携の場参加者人数（年間）	40	人	R8.3	-	-	-	24	40	57	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPI達成に有効であった	深化・高度化して実施	多様な人が参加し、まちの未来について語り合う「まちづくりサロン」を開催した。今後も、町が抱える具体的な地域課題と向き合い、その課題解決に向け、考え、語り合うことのできるプログラムを推進していく。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
2	地域おこし協力隊の活用 (①勝央町の地域創生を担う「ひと」と「地域」を育てる)	総務部	6,750	3,790	3,842	3,142	6,804	7,873	指標①	地域おこし協力隊の着任数（累計）	6	人	R8.3	2	2	3	4	5	5	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	行政とは違ったアプローチによる協力隊員の活動は、地域力の維持・強化等に有益であるため、地域にとって必要な取り組みは、活用継続が望ましい。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
3	地域活動参加への啓発 (①勝央町の地域創生を担う「ひと」と「地域」を育てる)	総務部	2,165	1,487	0	0	1,818	984	指標①	特色ある地域づくり事業実施数（累計）	30	事業	R8.3	15	16	16	16	19	23	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	新規事業の採択はなかったが、継続事業は予定通り実施できた。優良事例の周知・広報や他地区への横展開などを推進し、地方創生につなげていきたい。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
4	自主防災体制の充実 (①勝央町の地域創生を担う「ひと」と「地域」を育てる)	総務部	-	-	-	-	-	-	指標①	地区防災計画策定（累計）	11	計画	R8.3	-	-	1	0	0	0	地方創生に効果はまだこれから	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	災害対応における自助共助の観点から事業継続が望ましい。一例として地区との相談により地区防災計画策定モデル地区の選定を例に地区の計画作成又は検討の助長を期する。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
5	勝央町見守りネットワーク（仮称）の構築 (①勝央町の地域創生を担う「ひと」と「地域」を育てる、⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる)	総務部	-	-	-	129	0	0	指標①	見守りネットワークの構築	令和3年度までに構築	-	R4.3				構築済	事業者拡大	-	地方創生に効果はまだこれから	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	深化・高度化して実施	行方不明者の発生時、見守りネットワークを活用した情報提供を実施した。今後は、有事の際の協力体制などを改めて確認するとともに、協力事業者間の横の関係の構築にも力を入れていきたい。		
									指標②	防犯・交通安全体制に対する満足度アンケート	30	%	R8.3			19.7	-	-	-							
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	

No	① 総合戦略事業の名称 ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）						④ 事業における重要業績評価指標（KPI）						⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 (10/1 有識者会議実施)		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開	
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標				実績値						令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
									指標①	指標②	指標③	指標④	指標⑤	指標値	単位	目標年月	平成30年度	令和元年度						令和2年度
6	勝央町ぐるっと筋力アップ教室推進事業 (①勝央町の地域創生を担う「ひと」と「地域」を育てる、⑤ひとがいいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる)	健康福祉部	-	-	39	0	0	0	指標①	ぐるっと筋力アップ教室の開設箇所	27	箇所	R8.3			23	23	23	23	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	令和5年度から活動再開地区もあり、参加人数は増加している。また内容も体操だけでなく、囲碁ボールやレクリエーションなど地区で工夫をしながら活動を行っている。今後も活動を見守りながら継続していただければよい支援していきたい。
7	新規就農促進事業 (②勝央町で安心して働けるようにする)	産業建設部	210	200	190	570	355	600	指標①	新規就農者数（累計）	11	人	R8.3	3	3	4	5	8	11	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	現在は新規就農者が順調に推移している傾向だ。しかし、ぶどうや桃に偏っており、米や黒豆など土地利用型の作物を含め、その他の品目に対しても研修制度などを充実させ、新規就農につなげていく必要がある。そのためには、後継者の育成や「もうかる農業」をどう目指すのか、といった視点も必要になってくるのではないかと。耕作放棄地などの課題もある。事業を継続しつつも、長期的な視野で農業のあり方を考えていくことが重要だ。	事業の継続	勝央町の農業の健全な発展と活性化を図るため、新規就農者の確保・育成は今後も必要と考えられるため、事業を継続し、町も支援を行っていく。
8	耕作放棄地の解消 (②勝央町で安心して働けるようにする)	産業建設部	339	0	0	0	0	0	指標①	耕作放棄地の解消面積（累計）	43	ha	R8	94	99	102	104.3	106.8	109.3	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPI達成に有効であった	事業の継続	耕作放棄地の減少に一定の効果が見られるため、美作県民局、勝英土地改良区、農地中間管理機構と連携し、引き続き支援を行っていく。
9	創業支援事業 (②勝央町で安心して働けるようにする)	産業建設部	161	161	163	163	163	163	指標①	創業支援相談件数（年間）	10	件	R8.3	2	5	10	7	10	8	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	勝央町を含むみまさか商工会管内では、創業意欲の高い人が多い。そうした人たちの背中を力強く押してくれる制度だ。この制度を活用し、創業につなげた例もあるとのこと。事業を継続させるとともに、課題である飲食業の創業希望者の掘り起こしを進めてほしい。	事業の継続	商工会と連携した創業セミナーを実施し、複数名の参加者がセミナー後も商工会の経営指導員や講師を務めた中小企業診断士等と創業に向けた相談を行うなど、継続的な支援が出来つつある。今後も町だけではなく、商工会を中心とした関係機関とフォローアップ体制の強化を図っていく。

No	① 総合戦略事業の名称 ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）						④ 事業における重要業績評価指標（KPI）					⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 (10/1 有識者会議実施)		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標	指標値	単位	目標年月	実績値					令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由		
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度						令和5年度	
10	高校生等と地元企業交流事業 (②勝央町で安心して働けるようにする、③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部	0	0	0	0	0	0	指標①	美作地域高校生の美作地域就職率	75以上	%	R8.3	73	71	67	71	69	72	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	企業説明会等は津山圏域広域事務組合が事業化している。町としては、バーチャルオープンファクトリーサイトの積極的な活用を促し、地元企業の認知度を高めていくとともに、学生の地元企業とのつながりをつくることに注力したい。
11	ノースヴィレッジの魅力向上 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	産業建設部	-	-	-	13,995	21,070	17,722	指標①	ノースヴィレッジ宿泊者数(年間)	2,500	人	R8.3	-	-	1,700	2,085	2,486	2,325	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	ロッジの利用について、令和2年度にコロナ禍の影響により大幅に宿泊者は減少したが、県外客は年々回復基調にあり、R5年度の利用率収入はH30年度以降初めてとなる1千万円を超えた。一方、県内客は年々減少傾向にあることから、町内及び近隣市町村の利用増加に向けて、施設の活性化及びPRを行う必要がある。
12	工業団地オープンファクトリー事業 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部	3,824	4,098	1,498	1,188	4,972	1,416	指標①	オープンファクトリー参加学生数(小学生～大学生)(年間)	1,000	人	R8.3			1,000	0	0	0	地方創生に効果があった	-	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、本事業の趣旨を加味した事業を継続することが望ましい。	事業の継続	バーチャルサイトが完成したことに伴い、津山圏域地域の高校と町内小中学校に本サイトを紹介。授業等での活用を通して、地元企業の認知度向上と地域への就職を促した。今後は利用者のアンケート等を通してサイトの改善に努めていく。
13	プロモーション専門チームの設置 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部	-	-	-	0	0	0	指標①	プロモーション専門チームの設置	令和3年度までに設置	-	R4.3	-	-	-	未設置	未設置	未設置	地方創生に効果はまだこれから	-	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、本事業の趣旨を加味した事業を継続することが望ましい。	継続するが次期戦略に掲載しない	情報を素早く広報するために、各部署から情報を吸い上げ、一元的に当該情報を発信(プレスリリース)する仕組みを整えた。職員への呼びかけを強化し、情報発信能力をますます強化していきたい。
14	情報発信による町の魅力発信 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部 産業建設部	177	497	242	15	18	15	指標①	きんとくんフェイスブックの「いいね!」の数(年間)	700	いいね!	R8.3	594	637	643	661	688	716	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPI達成に有効であった	事業の継続	きんとくんが参加したイベント等について、上記の元気なまち推進室フェイスブックの記事に対し、きんとくんがリツイート(コメント)する方法も活用し、情報発信を行った。イベントの再開に応じて、きんとくんの派遣を再開し、R6年度以降も継続的に情報発信を行う。

No	① 総合戦略事業の名称  ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）						④ 事業における重要業績評価指標（KPI）						⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 (10/1 有識者会議実施)		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開												
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実績値				令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由																		
									指標	指標値	単位	目標年月						平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
15	ふるさと納税の有効活用 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部	17,168	17,944	35,186	34,864	32,805	40,195	指標①	ふるさと納税寄附者数（年間）	3,000	人	R8.3	1,040	988	2,150	2,276	1,994	2,353	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	地域や製品の魅力がより伝わるような企画やアピールが必要である。既存品のPRを行うとともに、新規返礼品の充実にも努めてほしい。	事業の継続	新しい掲載サイトを増やしたことや制度改正前の申込が多かったなどで寄附額が増えた。今後、経費を精査しながら寄附額を伸ばしていくための戦略を考える。											
									指標②																										
									指標③																										
									指標④																										
									指標⑤																										
16	「“ほどヨイ！田舎”来てみんちゃい♪勝央体験」事業 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	産業建設部	3,715	2,224	0	0	0	0	指標①	農業体験型事業等参加者数（年間）	200	人	R8.3	93	126	4	157	146	61	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	農家民宿事業者、農家が主体となり、農業体験及びイベントを提供し、農泊推進及び交流人口の増加を図る。											
									指標②																										
									指標③																										
									指標④																										
									指標⑤																										
17	「“ほどヨイ！田舎”住んでみんちゃい」お試し住宅事業 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部 産業建設部	2,536	1,509	985	1,180	1,116	825	指標①	お試し住宅利用日数（1箇所当たり）（年間）	330	日	R8.3	-	-	-	310	246	268	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	深化・高度化して実施	移住を検討する材料としてお試し住宅のウエイトは非常に大きいため継続が必要。また、長期が中心だった3棟のお試し住宅を短・中・長期の滞在希望に合わせて運用することで町を認識する関係人口の増加を進めていきたい。											
									指標②																										
									指標③																										
									指標④																										
									指標⑤																										
18	移住・定住相談のトータルサポート事業 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部	-	-	-	531	524	411	指標①	移住者数（累計）	760	人	R8.3	-	-	360	540	736	823	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPI達成に有効であった	継続するが次期戦略に掲載しない	転勤などによる必然的な移住と田舎暮らしなどを目的とした自発的な移住の棲み分けが難しいため指標として掲げることに疑問がある。移住相談会などでは協力隊の働きにより町の知名度向上も見込まれるため事業は継続したい。											
									指標②																										
									指標③																										
									指標④																										
									指標⑤																										
19	「住んでみんちゃい！」勝央町定住促進補助事業 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	総務部	-	-	-	1,550	4,844	2,400	指標①	空き家購入・改修助成件数（累計）	30	件	R8.3	-	-	15	17	23	26	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	高齢者や高齢世帯が利用者の多くを占めており、定住を見越したファミリー層の利用が少ない印象だ。若い世代（世帯）のニーズにあった制度のあり方を検討してもいいのではないか。その一方、古民家を好む人もいる。空き家を「資産」と捉える視点も忘れてほしい。勝央町は地理的に恵まれた地域にある。本事業を継続させ、地域の良さ（災害の少なさなど）をアピールし、移住定住につなげてほしい。	深化・高度化して実施	十分に空き家を提供するまでには至っていないが、年々制度も浸透しているため助成対象外の物件も含め、徐々に成約件数が増加している。地方への移住を促す取り組みとして有用であるため継続が望ましいと考えられる。											
									指標②																										
									指標③																										
									指標④																										
									指標⑤																										

No	① 総合戦略事業の名称 ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）						④ 事業における重要業績評価指標（KPI）							⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 (10/1 有識者会議実施)		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実績値					令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由								
									指標	指標値	単位	目標年月	平成30年度						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
20	「住んでみんちゃい！」勝央町新築住宅普及促進事業 (③地域とつながり、勝央町への新しいひとの流れを創る)	産業建設部	4,400	4,400	7,300	4,400	4,300	4,300	指標①	新築住宅助成件数（累計）	350	件	R8.3	135	171	222	255	288	318	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	分譲住宅開発もあり、町外からの転入者の増加にも一定の効果があると考えられる。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
21	結婚支援事業 (④結婚・出産・子育ての希望をかなえ、教育を充実する)	総務部	380	360	345	290	275	175	指標①	結婚支援員への相談件数（年間）	8	件	R8.3	9	8	2	7	3	0	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	継続するが次期戦略に掲載しない	令和5年度の相談件数は0件であったため、2か月に1回であった相談会を相談があった時のみ受け付ける体制をとる。		
									指標②	婚活イベント等参加者数（年間）	15	人	R8.3	5	11	コロナのため未実施	10	8	3							
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
22	子育て世代包括支援センターの充実 (④結婚・出産・子育ての希望をかなえ、教育を充実する)	健康福祉部	-	6,724	7,045	6,785	7,429	7,872	指標①	育児型ファミリーサポート事業利用者数（年間延人数）	130	人	R8.3	86	116	116	135	147	146	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	勝央町の子育て支援は充実している。出生率が全てではないが、近隣自治体には子育て政策に大きく注力しているところもある。良い施策は勝央町でも研究するなど、不断の努力を続けてほしい。また、子育てを巡る価値観は昔と今では、変容してきている。そういった変化を敏感に感じ取り、施策に活かすことも必要ではないか。	事業の継続	妊娠届出時の保健師の全員面談や出生後の全戸訪問など妊娠期からの切れ目ない子育て支援サービスを提供している。令和5年度は子育てボランティア養成講座を実施し、子育てボランティアなどの増加につながっており、今後も担い手養成を継続していく。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
23	子どもの居場所づくり事業 (④結婚・出産・子育ての希望をかなえ、教育を充実する)	健康福祉部 教育振興部	-	7,040	5,392	5,050	5,921	4,484	指標①	子育て広場利用者数（年間延人数）	4,000	人	R8.3	3,957	3,629	3,972	3,788	4,226	3,130	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	保健センターで実施している子育て広場は、町内外在住問わず親子が気軽に利用できる場として利用されている。子育てに関わる専門職への相談や母子保健事業、図書館事業など部署間を超えた事業連携の場となっている。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	
24	こども公園総合計画（仮称）の策定 (④結婚・出産・子育ての希望をかなえ、教育を充実する)	健康福祉部 教育振興部	-	-	-	-	-	-	指標①	町内遊び場マップに掲載する遊び場の箇所数	10	箇所	R8.3	-	-	5	5	5	5	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	休日開催のプレーパークや勝間田高校と協同実施するアグリプロジェクトなど、親子が自然体験や外遊びができる場を提供している。町内の公園や福祉センターの芝生広場など未就学児や児童の利用も増えており、親子が安心して遊べる場を今後も周知する。		
									指標②																	
									指標③																	
									指標④																	
									指標⑤																	

No	① 総合戦略事業の名称  ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）					④ 事業における重要業績評価指標（KPI）				⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 (10/1 有識者会議実施)		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開					
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標	指標値	単位	目標年月	実績値					令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由			
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度						令和5年度		
25	若者の自立支援・社会参画支援事業 (④結婚・出産・子育ての希望をかなえ、教育を充実する)	教育振興部				1,545	2,545	3,274	指標①	はぐくみサポーター登録者数（累計）	20	人	R8.3				15	17	20	20	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	生きづらさを抱える子どもや若者は多い。地域や社会で支えていく体制は重要。引き続き事業を継続、深化させていってほしい。	事業の継続	令和5年度は、新規のサポーター登録があったが、登録解除もあったため、結果的に登録者の増減はなかった。今後は、家庭教育支援チームや民生児童委員、町内外の関係機関との連携を密にし、切れ目のない支援を続けていく。また、広報紙に折り込むチラシや声掛けにより、新規登録者の増加を図る。加えて、説明会・研修会を年2回程度実施し、支援スキルの向上に努める。他にも、不登校児童生徒に対して、通信制高校や定時制高校等の情報提供も積極的に行い、進路サポートを行う。
26	保小中連携事業 (④結婚・出産・子育ての希望をかなえ、教育を充実する)	教育振興部	-	-	-	3,907	4,817	6,667	指標①	全国学力・学習状況調査において、国語、算数（数学）の正答率	全国平均以上	-	R8.3	全国平均以下	全国平均以下	コロナのた め未実施	小学校では 国・算は全国 平均以上、中 学校は国・数 全国平均以下 だが差は縮 まってきてい る	小学校では 国・算は全国 平均以下、中 学校は国が全 国平均以上、 数は全国平均 以下	小学校では国 は全国平均以 上、算は全国 平均以下、中 学校は国数と もに全国平均 以下	地方創生に効果はまだこれから	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	令和5年度の学力向上に関して、町内各校がそれぞれ特色のある取組を進めた。中でも中学校は、学力向上に関して、学級全体としてではなく、個別の生徒へ焦点をあてた授業開園に取り組んだ。ICTを活用しその実践を職員でも共有できるようした。その取組は小学校へも広げられ、今後はより子どもの視点に立った授業改善に取り組んでいくため、事業は継続する。不登校児童生徒数は前年度から数値の改善は見られなかったが、教育委員会としては重点取組の最優先事項として取組を継続しており、SCのより一層の活用や、一人一台端末での心の健康観察の導入等、取組のテコ入れを行う。	
									指標②	問題行動等調査における不登校児童数（小学校）	1	人以下	R8.3	-	-	-	2（過去5年平均）	9	11						
									指標③	問題行動等調査における不登校生徒数（中学校）	3	人以下	R8.3	-	-	-	9（過去5年平均）	19	22						
									指標④	問題行動等調査における不登校児童生徒数（完全不登校人数）	0	人	R8.3	-	-	-	0	0	3						
									指標⑤	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における、体力合計点	全国平均以上	-	R8.3	-	-	-	中学男子以外は全国平均以上（男子体力は全国平均以上）	小学校は男女とも全国平均以上、中学校は男子の立ち幅跳び、女子のボール投げ以外は全国平均以上。							

No	① 総合戦略事業の名称  ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）					④ 事業における重要業績評価指標（KPI）					⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 (10/1 有識者会議実施)		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開			
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実績値				令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由							
									指標	指標値	単位	目標年月						平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
27	学校と地域の協働事業 (④結婚・出産・子育ての希望をかなえ、教育を充実する)	教育振興部				2,096	2,445	2,636	指標① 文化の継承 お飾り作り、昔遊び等	1回以上/年	-	R8.3				1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPI達成に有効であった	事業の継続	わくわくスクールの開催日の増加については、施設の利用状況やスタッフの人数等の関係で現状では困難であるが、療育に特化した「ふたば教室」を引き続き開講し、活動の幅を広げる。令和5年度は北小教室が定員を超える申込みがあったため、定員の増加を検討しながら、子どもたちの放課後の体験学習の場として、引き続き事業を継続していく。
28	いきいき金太郎健康の郷づくり推進事業 (⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる)	健康福祉部 税務住民部	562	470	225	248	337	493	指標① 金時健幸ポイント参加者（累計）	2,500	人	R8.3	1,985	2,210	2,247	2,260	2,307	2,379	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	ポイント利用者については年々増加しているが、新たな参加者の発掘やポイント利用できるものの幅を広げてほしいという声に対応するため、内容を見直し、広報活動も行い、事業の継続をしていく。	
29	公民館機能を生かしたまちづくり (⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる)	教育振興部				6,698	8,735	9,199	指標① 公民館利用者数（年間）	30,000	人	R8.3		25,408	16,223	15,993	20,534	21,230	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	令和5年度はアフターコロナを見据え、各部屋の利用定員を撤廃したこともあり、利用者はコロナ前ほどではないが増加した。今後は、生涯学習の拠点として、町民をはじめ多くの方が集う場を提供していく。	
30	図書館を活用した心豊かなまちづくり (⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる)	教育振興部				8,943	9,801	9,487	指標① 図書館利用者数（年間）	56,000	人	R8.3		48,138	35,177	35,010	41,139	46,186	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	本を読まない人が多くなっているというが、読書には人を育てる力がある。勝央図書館は季節に合わせた様々なイベント等を行っており魅力的だ。周辺には文化施設や子育て広場が集約されており、地域の「居場所づくり」にもつながる可能性がある。そういった視点も持ちながら、引き続き図書館の魅力をPRし、利用者数の増加を目指してほしい。	事業の継続	利用状況は順調に増加している。利用者、貸出冊数、問い合わせなども回復してきている。図書館の滞在時間も長くなる傾向があり、イベント参加者も楽しんでいた。住民にとって図書館の必要性は変わらないため、引き続き生涯学習の中心としてのサービスを継続していく。	

No	① 総合戦略事業の名称  ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）						④ 事業における重要業績評価指標（KPI）				⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 （10/1 有識者会議実施）		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開			
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標	指標値	単位	目標年月	実績値					令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由		
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度						令和5年度	
31	スポーツによる健康で元気なまちづくり （⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる）	教育振興部	-	-	-	20,356	24,215	27,811	指標①	スポーツ施設利用者数（年間）	50,000	人	R8.3		44,900	28,920	31,317	45,840	49,919	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	施設利用者は、指標値近くまで増加した。イベントも予定していたものは開催できたが、コロナ前の参加者数からは大きく減少しているため引き続き広報活動に努めていく。
									指標②	スポーツイベントへの参加者数（年間）	1,500	人	R8.3		1,035	0	220	334	580					
									指標③															
									指標④															
									指標⑤															
32	文化財の活用、普及啓発 （⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる）	教育振興部	-	-	-	22	15	38	指標①	文化財普及事業等の開催数（年間）	3	-	R8.3	-	-	2	2	2	1	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	引き続き、普及啓発のための事業を実施していく。
									指標②															
									指標③															
									指標④															
									指標⑤															
33	美術文学館事業 （⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる）	教育振興部	6,310	7,178	7,178	3,994	5,857	11,031	指標①	美術文学館入館者（年間）	12,000	人	R8.3	11,788	8,072	4,478	4,840	5,857	9,392	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	様々なイベントが企画され、利用者の増加につながっている。引き続き勝央町の文化・芸術を発信してほしい。その際には、ぜひ町民の皆さんがより積極的に利用できるような工夫（例えば、町民限定の「年間パスポート」の販売や「町民割」などを凝らしてみてもどうか。なお、美術文学館の周辺には図書館の他、文化ホールや子育て広場などが集約されている。町民が、生き活きと、町に愛着をもって暮らしていけるようなまちづくりの拠点にしてほしい。	事業の継続	コロナ以前の入場者数に近づいているが、まだ元に戻っていない。20周年事業は、従来の賑わいを取り戻す良いチャンスでもあるため、更に広報活動に力を入れていきたい。また、コロナ以前より続けてきた、普及啓発事業の再開や、家族で楽しめるような参加体験型の展覧会となるよう企画内容も工夫していきたい。
									指標②															
									指標③															
									指標④															
									指標⑤															



No	① 総合戦略事業の名称  ※カッコ内は、基本戦略名	② 担当部署	③ 実績額（単位：千円）						④ 事業における重要業績評価指標（KPI）					⑤ 実績値及び令和5年度事業効果						⑥ 外部有識者からの評価 （10/1 有識者会議実施）		⑦ 実績値を踏まえた今後の事業展開		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標	指標値	単位	目標年月	実績値					令和5年度 事業効果	事業評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由		
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度						令和5年度	
34	文化ホール事業 （⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる）	教育振興部				15,753	21,764	16,587	指標①	文化ホール入館者数（年間）	35,000	人	R8.3		29,267	8,283	13,289	17,527	16,855	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	事業の継続	ホールの入館者数は、コロナ禍の令和2年度を底に回復の兆しを見せているが、まだ、コロナ前の状態には戻っていない。これは、コロナ禍で活動を自粛したり、休止した団体が増加したことに起因している。貸館での営業活動を推進しながら、普及啓発公演に加え、子供向け公演や親子で鑑賞できる公演、アウトリーチ事業をさらに充実させていき、町民が本物の文化芸術に触れることができる機会を幼少期から継続して提供する。
									指標②															
									指標③															
									指標④															
									指標⑤															
35	情報化・技術革新への対応 （⑤ひとがいきいきと心豊かで快適に暮らせるまちをつくる）	総務部	-	-	-	-	4,197	0	指標①	行政手続きのオンライン化	33	件	R8.3			3	0	26	27	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	KPIを達成することはできなかったが、工夫を行った上で、事業を継続することが望ましい	深化・高度化して実施	標準準拠システム移行後、基幹システムへの申請情報の取込などのシステム間連携機能の実装を進め、業務効率化・手続の拡充など、オンライン申請環境を更に整備していく
									指標②															
									指標③															
									指標④															
									指標⑤															